

## 愛知学院大学薬学会雑誌投稿規定

投稿される論文は、その内容が未投稿及び未掲載であって、独創的な知見を含むものに限り、なお、愛知学院大学薬学会会員以外からの投稿も受け付けます。投稿の際には、査読候補者を一名必ず明記してください。

### 1 論文の類別

論文は投稿による総説と一般論文があります。用語は日本語及び英語とします。投稿論文は、原則として1名以上の審査員の評価に基づき担当編集委員が採否を決定します。

1) 総説：著者の研究成果をまとめたもので主題が明確であること。研究は必ずしも完成してなくてもよいが、かなりの結論や実験的証拠の整ったもの。

2) 一般論文：独創的研究で得られた有意義な新知見を含む論文。

### 2 投稿方法

原稿をPDFファイルで作成し、編集委員会に投稿して下さい。

### 3 原稿作成

#### 1) 原稿

原稿は図、表も含めて1つのPDFファイルとして下さい。シングルスペースでA4判（30行/余白各2.5 cm程度）に記入して下さい。フォントはTimes New RomanまたはMS明朝の12ポイントを用いて下さい。

（カバーレター）

和文で連絡著者情報（連絡著者名、所属機関及び住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス）を記載して下さい。

（第1頁）

論文表題、著者名（フルネーム）、所属機関、所属住所（郵便番号）について和英併記で記載して下さい。連絡著者はその名前前の右肩にアスタリスク（\*）を付し、脚注にE-mail アドレスを記載して下さい。所属機関が複数の場合は、上付のa, b, c・・・、を著者名の後ろと所属機関の前に付して下さい。

（第2頁）

サマリー（250語以下）及びキーワード（3～5語）を英文で記載して下さい。

（第3頁以降）

本文、謝辞、引用文献、図の説明、表、図の順に記載して下さい。構造式、図、表などにも、通しのページ数を記載して下さい。

#### 2) 構造式・図・表

図、表等は英文で、A4判用紙に1つずつ記載（縦、横使用可）し、化合物番号、図、表には、すべてアラビア数字を使用して下さい（例：Fig. 1, Table 1など）。図の説明文は、英文で別紙に記載して下さい。

#### 3) 略語

初出時にスペルアウトし、その直後に略語を( )内に示し、以下それを用いて下さい。定義しないで使用できる略語は次のとおりです。

AIDS (acquired immunodeficiency syndrome), ATP (adenosine 5'-triphosphate), cAMP (adenosine 3',5'-cyclicmonophosphate), cDNA (complementary DNA), CoA (coenzyme A), DNA (deoxyribonucleic acid), ED<sub>50</sub> (50% effective dose), ESCA (electron spectroscopy for chemical analysis), ESR (electron spin resonance),

FAB-MS (fast atom bombardment mass spectrometry), FAD (flavin adenine dinucleotide), GC-MS (gas chromatography-mass spectrometry), HOMO (highest occupied molecular orbital), HPLC (high-pressure liquid chromatography, high-performance liquid chromatography), IC<sub>50</sub> (inhibitory concentration, 50%), IR (infrared), LD50 (50% lethal dose), LUMO (lowest unoccupied molecular orbital), MO (molecular orbital), mRNA (messenger RNA), MS (mass spectrum), NMR (nuclear magnetic resonance (as <sup>13</sup>C-NMR, <sup>1</sup>H-NMR)), P450 (as in cytochrome P450), RNA (ribonucleic acid), rRNA (ribosomal RNA), STO (Slater-type orbital (as STO 3G)), TLC (thin-layer chromatography), tRNA (transfer RNA), UV (ultraviolet)

#### 4) 単位

length (m, cm, mm, μm, nm, Å), mass (kg, g, mg, μg, ng, pg, mol, mmol), volume (l, ml, μl), time (s, min, h, d), temperature (°C, K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml, μg/ml, %, % (v/v), % (w/v), ppm, ppb)

#### 5) スペクトル, 元素分析等の記載例

<sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ: 1.25 (3H,d,J=7.0Hz), 3.55 (1H,q,J=7.0 Hz), 6.70 (1H,m). <sup>13</sup>C-NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ: 20.9 (q), 71.5 (d), 169. 9. IR (KBr) cm<sup>-1</sup>: 1720, 1050, 910. UVλ<sub>max</sub> (EtOH) nm (ε): 241 (10860), 288 (9380). UVλ<sub>max</sub> (H<sub>2</sub>O) nm (logε): 280 (3.25). FAB-MSm/z: 332.1258 (Calcd for C<sub>18</sub>H<sub>20</sub>O<sub>6</sub>: 332.1259). MS m/z: 332 (M<sup>+</sup>\_\_\_\_\_), 180, 168. [α]<sub>D</sub><sup>25</sup> -74.5 (c=1.0, MeOH). Anal. Calcd for C<sub>19</sub>H<sub>21</sub>NO<sub>3</sub>: C, 73.29; H, 6.80; N, 4.50. Found: C, 73.30; H, 6.88; N, 4.65.

#### 6) 命名法

化合物の命名は、IUPAC制定の命名規則に従って下さい。しかし、Chem. Abstr.の索引の命名法ならびにRingIndexの命名法に準ずることもできます。

#### 7) 引用文献及び注記

引用文献等は、雑誌掲載論文、書籍・単行本、インターネット、その他(技術報告・特許・講演等)とします。これ以外は文章的な記述として下さい。出現順に通し番号(引用文献1件ごとに1つの番号とします)を付け、文章右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示し、番号順に並べて REFERENCES として論文末尾に一覧表示して下さい。雑誌名の略称は Chem. Abstr.(参照: The ACS Style Guide. A Manual for Authors and Editors.)に準じます。和名のみ場合は、ローマ字表記にして下さい。

例)

1) Keilhauer G., Faissner A., Schachner M., Nature (London), 316, 728-730 (1985).

2) Kawai S., Tanaka S., "Encyclopedia of Experimental Chemistry, Vol. 17, Reaction of organic compounds I," ed. by The Chemical Society of Japan, Maruzen Co., Ltd., Tokyo, 1963, pp. 1-243.

3) Cruickshank R., Duguid I. P., Marmion B. P., Swain R. H. A., "Medical Microbiology," 12nd ed., Vol. III, ChurchillLivingstone, New York, 1975.

引用文献の記載には、著者名は全員を記し、first及びmiddle nameのイニシャルを記載して下さい。論文本文中に記載される人名は姓のみ(2名まで)とします。3名以上の時は1名を記し *et al.*を付して下さい。

#### 4 ヒトや動物を対象とした論文について

1) 人体ならびにヒト組織を対象とした論文は「ヘルシンキ宣言」(1964年発行, 2004年改訂: <http://www.wma.net/e/policy/b3.htm>)の倫理基準に、またヒト遺伝子に関する論文は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に

関する倫理指針」([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/seimei/genomeshishin/](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/seimei/genomeshishin/))に従い、かつ、何れの場合も所属機関の倫理委員会の承認を得て実施されたものに限って投稿を受け付けます。なお、当該論文がこれらに従って実施されたことを本文中に明記して下さい。

2) 動物を対象とした論文は、所属機関の定める動物実験ガイドラインのみならず文部科学省など公的機関の策定したガイドラインに従って実施されたもの限り投稿を受け付けます。なお、当該論文はこれらのことを本文中に明記してください。

#### 5 その他

1) 投稿論文の採用が決定した場合には、本文と表（Microsoft Wordファイル）及び図（TIFF、EPS形式で保存したファイル、ChemDrawファイル等）を編集委員会に提出する必要があります。

2) 別刷りの発行代金は、著者の負担になります。

3) 著作権本誌に掲載された論文はいかなる形式で公表される場合においても、その著作権は愛知学院大学薬学会に帰属します。

（施行平成20年7月1日）